

トビウオ通信 (R8 第3号)






<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《令和8年度上半期浮魚長期漁況予報》

令和8年3月27日に国立研究開発法人水産研究・教育機構から「2025年度第2回対馬暖流系マアジ・サバ類・いわし類長期漁海況予報」が発表されました^{※1}。本予報は、対馬暖流域における主要浮魚類の令和8年度上半期(4月～9月)の漁況予報について、当センターを含む水産関係研究機関等で検討し、同機構が取りまとめたものです。今回は、この内容をもとに日本海における主要浮魚類の漁況予報の概要と令和7年度下半期(令和7年10月～令和8年3月)の島根県中型まき網漁業による主要浮魚類の漁況を併せてご紹介します。

※1 https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/fri_20260327_ukiuo-tsushima-2nd.html

日本海における漁況(来遊量)予報〔令和8年度上半期(4月～9月)〕

	漁況予報
マアジ	前年を上回る 
マサバ	前年並み 
マイワシ	前年並み 
ウルメイワシ	前年並み 
カタクチイワシ	前年を下回る 

※ ウルメイワシとカタクチイワシについては東シナ海の漁況予報を参照しています。

※ 「前年」は令和7年度上半期、「平年」は過去5年間の平均値を示します。

令和8年度上半期の漁況予報

(1)マアジ

<日本海>

来遊量：前年を上回り、平年並み。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

魚体：15cm～25cmの1・2歳魚(令和6・7年生まれ)が主に、5cm～15cmの0歳魚(令和8年生まれ)及び25cm以上の3歳魚(令和5年生まれ)以上も漁獲される。

(2)マサバ

<日本海>

来遊量：前年並みで、平年を上回る。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部が漁場となる。

魚 体：漁期前半は26cm～32cmの1歳魚（令和7年生まれ）及び33cm以上の2歳魚以上（令和6年以前生まれ）、漁期後半は1歳魚以上に加えて、25cm以下の0歳魚（令和8年生まれ）が主に漁獲される。

(3)マイワシ

＜日本海＞

来遊量：前年・平年並み。

漁期・漁場：漁期前半に日本海西部～中部、後半に日本海西部の沿岸域が漁場となる。

魚 体：漁期前半は16cm～22cmの1～3歳魚（令和5年～令和7年生まれ）、漁期後半は15cm以下の0歳魚（令和8年生まれ）が主に漁獲される。

(4)ウルメイワシ

＜東シナ海＞（日本海における予報はありません）

来遊量：前年・平年並み。

漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

魚 体：漁期前半は15cm以上の1・2歳魚（令和7・6年生まれ）、漁期後半は5cm～15cmの0歳魚（令和8年生まれ）が主に漁獲される。

(5)カタクチイワシ

＜東シナ海＞（日本海における予報はありません）

来遊量：前年・平年を下回る。

漁期・漁場：4月～6月が主体となる。長崎県南部以南の沿岸域が主な漁場となる。

魚 体：漁期前半は5cm以上の0・1歳魚（令和8・7年生まれ）、漁期後半は4～8cmの0歳魚（令和8年生まれ）が主に漁獲される。

島根県中型まき網における下半期（令和7年10月～令和8年3月^{※2}）の漁況

※2 3月は速報値

(1)マアジ

令和7年度下半期のマアジの漁獲量は2.2千トンであり、前年同期（4.3千トン）の5割、平年同期（3.8千トン）の6割で、前年・平年を下回りました。なお、令和4年度から令和6年度は3月の漁獲がありませんでしたが、令和7年度は4年ぶりにわずかながらも漁獲（36トン）がありました。

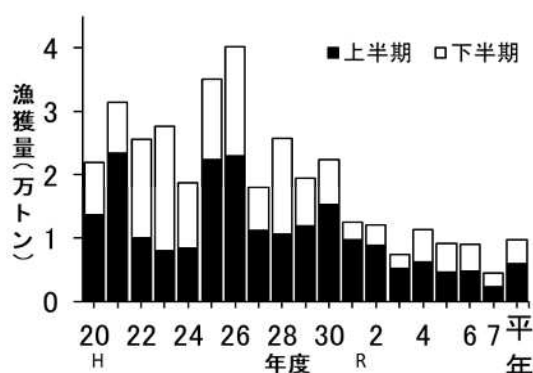


図1. 島根県の中型まき網によるマアジの年度別漁獲動向（上半期、下半期別）

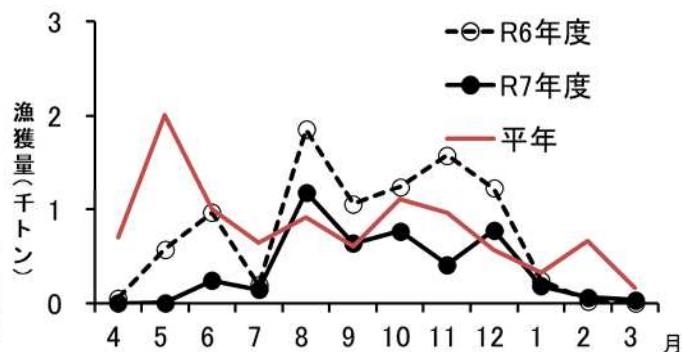


図2. 島根県の中型まき網によるマアジの月別漁獲動向

(2) サバ類

令和7年度下半期のサバ類の漁獲量は2.8千トンであり、前年同期(5.2千トン)の5割、平年同期(4.3千トン)の7割で、前年・平年を下回りました。なお、令和6年度及び令和7年度は、比較的小さい規模ながら下半期の漁獲ピークが1月にありました。

※島根県の統計上、マサバとゴマサバは分けて集計されないため、本誌ではサバ類と表記しています。

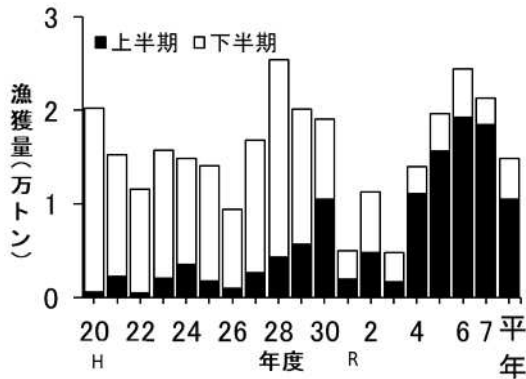


図3. 島根県の中型まき網によるサバ類の年度別漁獲動向(上半期、下半期別)

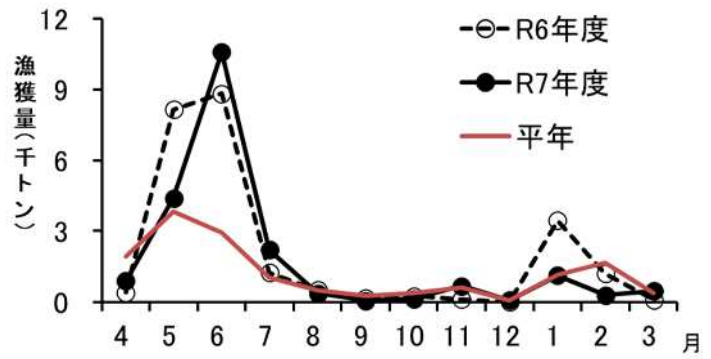


図4. 島根県の中型まき網によるサバ類の月別漁獲動向

(3) マイワシ

令和7年度下半期のマイワシの漁獲量は1.9万トンであり、前年同期(1.8万トン)の1.1倍、平年同期(1.4万トン)の1.4倍で、前年並みで平年を上回りました。令和7年度は2月に入り漁獲量が急増し、2月・3月のみで下半期のほぼ全量が漁獲されました。

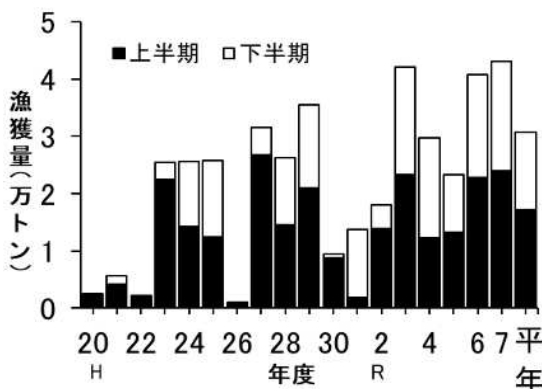


図5. 島根県の中型まき網によるマイワシの年度別漁獲動向(上半期、下半期別)

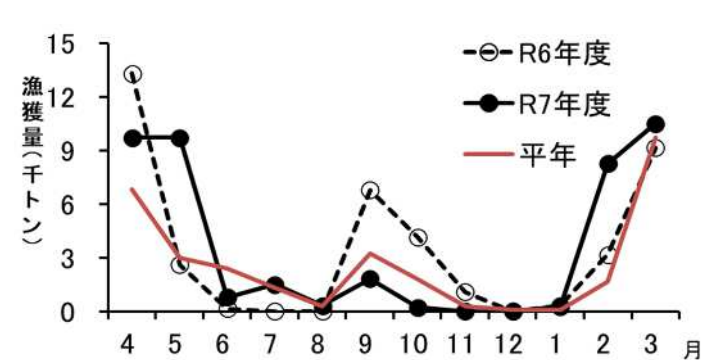


図6. 島根県の中型まき網によるマイワシの月別漁獲動向

(4) ウルメイワシ

令和7年度下半期のウルメイワシの漁獲量は0.2千トンであり、前年同期（1.8千トン）の1割、平年同期（1.5千トン）の1割で、前年・平年を下回りました。例年、秋季にも漁獲ピークが見られ、令和5年度及び令和6年度も1千トンを超える漁獲が見られましたが、令和7年度は11トンであり、前年・平年を大きく下回りました。

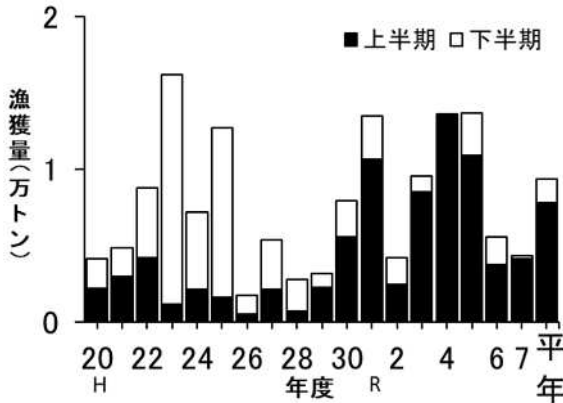


図7. 島根県の中型まき網によるウルメイワシの年度別漁獲動向（上半期、下半期別）

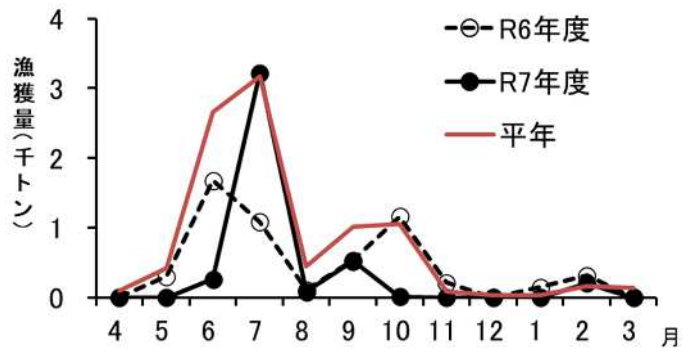


図8. 島根県の中型まき網によるウルメイワシの月別漁獲動向

(5) カタクチイワシ

令和7年度下半期のカタクチイワシの漁獲量は14トンであり、前年同期（94トン）の2割、平年同期（499トン）の1割未満にとどまりました。令和4年度以降、下半期だけではなく、上半期も漁獲量が低調に推移しており、一年を通して不漁が続いています。

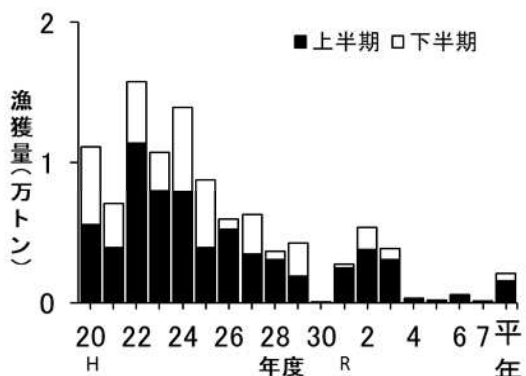


図9. 島根県の中型まき網によるカタクチイワシの年度別漁獲動向（上半期、下半期別）

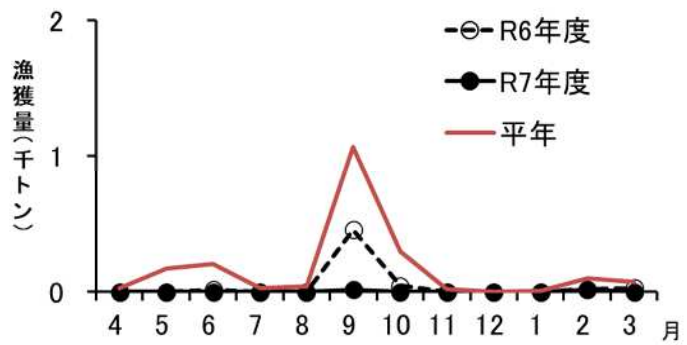


図10. 島根県の中型まき網によるカタクチイワシの月別漁獲動向